

茨城県常総市の総合事業について（デマンド型乗合交通実証運行）

計画事業

現況及び課題

- 鉄道は、関東鉄道常総線の水海道駅や石下駅をはじめとする7駅があり、北は筑西市の下館駅でJR水戸線に、南は守谷駅でつくばエクスプレス線、取手駅でJR常磐線に接続しており、公共交通の中核となっている。
- 市内を走る民間バス路線は、4路線のうち、各2路線が水海道駅と石下駅が起点となっている。市内を走る路線バスは4路線のうち、1路線である。
- 市内の大半が公共交通不在地域であることから、高齢者等の移動手段を確保するため、無料の福祉バスを運行している。
- 本市は、平成18年1月に、水海道、石下の旧2市町が合併して誕生したが、上述の公共交通の現状から、特に市内の移動手段が不十分であり、福祉バスでは旧団体間の行き来ができないなどの問題を抱えている。

活性化の目標・方向性

- 市内全域を対象にデマンド型乗合交通を導入し、在住場所から市内の公共施設、駅、医療施設、中心市街地等へのドアツードアのサービスを提供することで、利便性の向上を図るとともに、市民の多くが利用するよう、情報提供、市民参画を進める。

実施する事業の内容

- 常総市デマンド型乗合交通実証運行事業（平成21年10月～平成23年度）
 - ◆ 地域 市内全域
 - ◆ 本数 1日9便
 - ◆ 運賃 500円
- 利用促進方策（平成21年度～平成23年度）
 - ◆ 市広報、HPによる情報提供、チラシ等作成
 - ◆ 病院、商店街等と連携した利用促進活動

茨城県常総市 : 総合事業の実施区域

計画事業

